

龙行龘龘 前程朤朤 广东同乡会新春联欢暨成人祝贺会红红火火盛大举行

辞旧迎新春，新的一年开启新的希望，2024年1月20日中午，由一般社团法人广东同乡会主办的2024新春联欢暨成人祝贺会在横滨中华街玫瑰大酒店成功举办。活动由朱铭江副会长司仪主持。



当天，中华人民共和国驻日本国大使馆赵钢参赞、王宝锋一秘兼领事、史旭光一秘兼领事、香港特区政府驻日经贸代表部谢智浩副代表、东京华侨总会陈隆进会长、横滨华侨总会谢成发会长、广东要明鹤同乡会夏东开名誉会长、东京华侨妇女会黄惠会长、横滨中山乡友会缪雪峰会长、一般社团法人留日华侨北省同乡联合会林治国会长、留日华侨福建同乡会谢忠勇会长、横滨台湾同乡会余玉隆会长、留日华侨浙江同乡会陈今胜会长、横滨山手中华学校张岩松校长、京滨三江公所张如伟副会长、留日华侨江苏同乡会钱江丽子副会长、留日台湾省民会陈益民副会长、横滨华侨妇女会张爱玲副会长、横滨中华俱乐部容达强副会长、横滨华侨商公会任镇东副会长、一般财团法人中华会馆关广佳事务局长、中文导报社杨文凯社长、日中商报张逊总编、佐藤税务会计事务所土田修弘计理士以及近300名新老粤籍华侨华人老老少少同聚一堂，共庆新春。



一般社团法人广东同乡会会长陆焕鑫首先发表致辞，他表示：今天是我们相隔四年举办的新春联欢暨成人祝贺会，在过去三年多得期间我们经历了新冠疫情的考验。我非常欣慰，大家都身体健康、精神爽利，能欢聚在这里，的确是一件非常可贵的事。

新的一年，新的开始，即将到来的甲辰龙年，相信是一个充满希望的一年。祝愿大家如龙般矫健、如虎般勇猛；祝愿大家事业腾达，家庭美满。让我们一起迎接这个充满希望和机遇的新年。今天是我们相隔四年举办的新春联欢暨成人祝贺会。在过去三年多的期间我们经历了新冠疫情的考验。今天我非常的欣慰，欣慰的是大家都身体健康、精神爽利能欢聚在这里，这的确是一件非常可贵的事。

今天又是祝贺我们会员子弟新成人的日子。这次新年会我们六位新成人报名，恭喜大家！



中华人民共和国驻日本大使馆赵钢参赞代表来宾致辞，发表了热情洋溢的讲话。赵参赞称：感谢在日广东同胞为中日合作交流做出了积极贡献。新的一年迎来了新的机遇和挑战，希望各位同胞和侨胞能够再接再厉、携手共进，继续发扬友好传统，为中日关系的改善发挥更大作用。



为了祝贺新成人广东同乡会为他们准备了贺礼，请当天到会的四位年满 20 岁的新生代青年上台，由陆会长向他们逐一赠送。



随后由广东要明鹤同乡会名誉会长、广东同乡会夏东开顾问致祝酒词、恭祝大家新春大吉，万事和畅。到场来宾一同举杯同庆新春的到来。

碰杯之后，横滨中华学校校友会国术团的两头醒狮伴随着震耳欲聋的锣鼓声闪亮登场，舞起精彩的传统广东醒狮，给全场带来了热闹、喜庆、祥和、欢乐的气氛。



陆焕鑫会长和徐永赞副会长登上舞台，各自举



起绑好了生菜及红包的长棍，让两头醒狮来“采青”，生菜和红包寓意“生财”、蕴含着祈望大家新年发大财的美好期许。接着两头醒狮大开口并从狮口吐出了写有吉祥语句的四字挥春，恭喜大家“吉星高照”、“大吉大利”。

兴节目正式开始。

随后，由广东同乡会的文艺小组成员伴随着喜庆粤语歌曲“祝福你”载歌载舞登场，表演了多项文艺节目，随着开场舞联欢祝贺会余



在日华人著名演唱家孟繁杰女士和刘子真先生、在日华人艺术家马玉辉女士等著名旅日表演艺术家们，也在现场载歌载舞，为到场来宾和乡亲们献上一幕幕精彩表演。



刘子真还演唱了“仰望星空”，孟繁杰演唱了“万疆”，高维祺演奏了“可可托海的牧羊人”等萨克斯风三连奏，张巧君表演了舞剑，马玉辉献唱了“阳光路上”。文艺余兴节目在“明天会更好”的歌声中画上了圆满的句号。

最后，广东同乡会符顺和副会长致谢辞，联欢会正式落下了帷幕。



「龍行龔龔 前程朧朧」
廣東同郷会4年ぶりに新春聯歡会
二十歳を迎えた会員子弟らを祝福

2024年1月20日正午、辰年の到来にちなみ「龍行龔龔 前程朧朧」(*注)をテーマに掲げた一般社団法人廣東同郷会主催による「2024 新春聯歡及び成人祝賀会」が横浜中華街ローズホテル横浜にて盛大に開催された。

この日の祝賀会には中国大使館から趙鋼参事官、王宝鋒一等書記官兼領事、史旭光一等書記官兼領事、香港特別行政区政府駐東京經濟貿易代表部謝智浩副代表をはじめ、京浜地区の僑団や友好団体の代表らが来賓として招かれ、同会の会員と家族ら総勢約300名が32の宴卓を囲み、文字通り一堂に会して盛大に新年の到来を祝った。

祝賀会は同会の朱銘江副会長が司会を務めた。

冒頭、あいさつに立った陸煥鑫会長は、コロナ禍を経て四年ぶりにこうして多くの来賓と会員、そしてその家族らが元気に集まり新年の到来を祝うことができたことは大変喜ばしいことだと述べるとともに、今年度二十歳を迎える会員子弟が六名いることが紹介された。

続いて来賓を代表し、中国大使館の趙鋼参事官が登壇してあいさつし、廣東同胞が長きにわたり中日間の友好交流に尽力してきたことに感謝するとともに、新たな年を迎え新たなチャンスとチャレンジを目の前にし、同胞と僑胞の皆さんが引き続き手を携え、さらに前進していくよう励み、友好の伝統を継承し、中日関係の改善に力を尽くしてほしいと語った。

来賓あいさつに続き、この日の祝賀会に参加した今年度二十歳を迎えた会員子弟が紹介され登壇し、陸会長より会が用意した記念品が贈呈された。

続いて廣東要明鶴同郷会名誉会長で廣東同郷会の夏東開顧問が乾杯の音頭を取り、すべての来場者とともに祝杯を挙げ、新年の到来を寿ぎ、皆の健勝を祈った。

乾杯と同時に、横浜中華学校校友会国術団による二頭の獅子が銅鑼と太鼓の賑やかなリズムに乗せ登場し、来場者に幸運をもたらす舞いを披露した。そして場内を一巡した二頭の獅子は中央ステージに向かった。

壇上では陸煥鑫会長と徐永賛副会長が、先端に「生菜(レタス)」と「紅包」をくくり付けた竿を手

に持ち、獅子舞いが「採青」するのを待った。

二頭の獅子は「生菜と紅包」に飛びつき、見事に「採青」は成功した。

「採青」とは獅子が用意された「青菜を付けた紅包」をくわえ取って食べる事を指し、「採青」をしてもらうと沢山の幸せが訪れると言われている。

廣東で「採青」に用いる青菜は特にレタスが好まれている。これは「生菜(レタス)」が「生財(財を生む=金持ちになる)」に通じる大変縁起の良い野菜とされるため、新年に舞う獅子が「紅包」を捉えてから「生菜(レタス)」にかぶり付き、その碎片を振り撒くことによって新年に財運を得ることが叶うとされている。



獅子舞に続き、広東同郷会の演芸グループのメンバーは、廣東の新年にちなんだおめでたい広東語で歌う楽曲である「祝福你」に合わせて舞台上で登場し、オープニングダンスの合唱で祝福の余興が始まり、会場は賑やかな雰囲気包まれた。

その後に様々な演芸プログラムとして、在日華人の著名な声楽家：孟繁杰さんと劉子真さん、著名な旅日表演芸術家：馬玉輝さんも現地で歌い踊りながら、会場の来賓や同郷会の方々に素晴らしいパフォーマンスを披露した。



劉子真さんは「見上げてごらん夜の星を」の人気名曲を、孟繁杰さんは「万疆」等の名曲を美しい歌声で歌唱した、高維祺さんは「可可托海の牧羊人」などのサクソ三重奏を演奏し、張巧君さんは剣舞を披露し、馬玉輝さんは「陽光路上」を歌った。演芸のラストプログラムにトリを飾った「明天会更好」の歌声と共に、満ち足

りた締めくくりを迎えた。

午後二時過ぎ、廣東同郷会符順和副会長が閉会の辞を述べこの日の聯歡会はお開きとなった。



(*注)【龍行龘龘 前程朧朧(lóng xíng dá dá qián chéng lǎng lǎng)】は、2024年の幕開けにちなむ「辰年」の祝福の言葉。【龍行龘龘 前程朧朧】この二つの言葉はいずれも中国の古典由来の珍しい漢字を使った表現で、「龍のように勢いよく飛び立ち、飛躍して輝かしく明るい一年となるように」との願いが込められている。「龘」は勢いよく飛び立つ龍の姿を表す字。「朧」は「朗」の異体字。